

都市のコンパクト化と居住地の日常生活サービス水準に関する調査研究報告

1. 背景、目的

今後、急激な人口減少・高齢化が進む中、利便性の高い市民生活の持続的な確保や安心して住み続けられる地域づくりを実現するためには、市民の日常生活を支える地域生活拠点の維持・充実が重要であると考えている。

各地域生活拠点内に各種生活サービス機能が、どのくらいの種類と数が、どのエリアに集積されるべきかといった「目標値」を設定するにあたり、まずは各地域での各種生活サービス機能の利便性について把握する必要がある。

そこで、道路移動時間の視点から、本市の各種生活サービス水準の調査を実施した。

2. 調査概要について

○鳥取市内の各地域での、居住地から生活関連施設までの平均道路移動時間を算出することで、「地域での各施設の利便性」を「住民の施設への道路時間距離」で評価を行った。

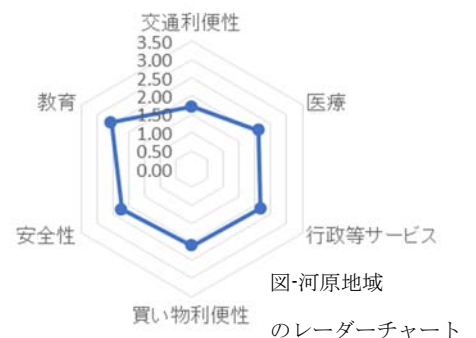
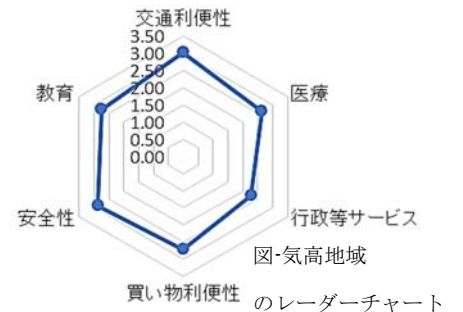
○「交通利便性」(駅, バス停), 「医療」(総合病院, 診療所), 「行政等サービス」(役場, 郵便局), 「買い物利便性」(スーパー, コンビニ), 「安全性」(警察, 消防署), 「教育」(小学校, 中学校) の6つに分類。

○各地区の相対的な評価として正規化し、以下の表にまとめた。

※全生活サービス水準値の最低値である佐治地域の買い物利便性を全体の規準値(0)としている。

3. 調査結果

	交通利便性	医療	行政等サービス	買い物利便性	安全性	教育
鳥取地域	2.73	2.96	1.56	3.21	2.92	3.15
国府地域	2.08	2.73	2.55	2.8	2.96	3.32
福部地域	2.64	2.55	2.22	1.91	0.95	2.7
河原地域	1.71	2.12	2.17	2.11	2.22	2.55
用瀬地域	3.00	2.32	2.77	2.74	3.05	2.81
佐治地域	0.09	1.63	1.89	0.00*	0.91	0.24
気高地域	3.02	2.64	2.29	2.71	2.88	2.75
鹿野地域	1.75	2.94	3.01	3.00	2.39	2.93
青谷地域	1.9	2.03	1.86	1.23	2.41	1.93



4. 調査結果を受けて鳥取市の今後の取組

本市の各種生活サービス水準の結果がわかったが、あくまで道路移動時間の視点で見たものであり、今回の調査結果と併せて市民の意識調査を行い、各地域での現状と課題を把握する必要がある。

そのため、今後各地域に居住されている方へ各生活拠点内の各種生活サービス機能について市民アンケートを実施し、「各地域生活拠点内で現在充足しているもの、現在必要としているもの、今後必要とされるもの」で分類したうえで、各種生活サービス機能の必要性や重要性を整理し、地域生活拠点の維持・充実を目指していく。